

あなたが写っていたらご連絡ください。写真を差し上げます。
 〈広報広聴課 ☎22-8112〉

イキイキ健活！ 「私のプラス1」

生活に気軽に取り組み始める健康習慣を1つ加える「プラス1」運動。毎月、皆さんの「プラス1」を紹介しています。



▲敦賀海陸運輸株式会社 学校給食センター 配達ドライバーの皆さん

私たちは、昼休みに仲間とウォーキングを続けています。運転の仕事は長時間座り続けることが多く、体が重く感じることもありましたが、歩くようになって心身がリフレッシュし、午後の集中力も高まったと感じています。歩きながら景色を楽しんだり、会話をしながら歩いたりすることで、職員同士のコミュニケーションも深まり、楽しく続けることができます。これからも仲間と励まし合いながら、健康づくりに取り組み、子どもたちにおいしい給食を届けていきたいと思ひます。

皆さんの「プラス1」を紹介しませんか？詳しくは、健康推進課（☎25-5311）までお気軽にお問い合わせください。

新・健康7アクション
 こまめに動こう！+10分
 昼休みに仲間と一緒に
 楽しくウォーキング！



安全・安心のまちへ 2月10日 元暴力団事務所撤去に対する感謝状の贈呈

本町1丁目の元暴力団事務所として使われていた建物と土地を市が買い取り、治安向上に貢献したことに対し、福井県警察本部の増田美希子本部長から敦賀市に感謝状が贈呈されました。市は別の反社会的組織の拠点になることを防ぐため、2年前から関係者と買い取りの交渉を開始。昨年12月に6,800万円で売買契約が成立しました。米澤市長は「市民の方にはこれで安心してほしい。象徴的な建物だったので、反社会的な組織の進出は許さないという意思表示と受け止めてほしい。」と述べました。行政が暴力団に関わる建物や土地を買い取った例は、全国で4件目。今後市民の意見を募りながら、建物と土地の活用方法を検討していきます。



世界に一つのオリジナルカードづくり 1月31日 敦賀ムゼウム 冬季イベント開催

ちぎり絵と己書を組み合わせたカードづくりワークショップが開催されました。参加者は、敦賀の人々がユダヤ難民を温かく迎えたエピソードに登場する「リング」を越前和紙で作し、筆ペンで思い思いの文字を添えて、世界に一つだけのオリジナルカードを完成させました。作品には平和や幸せへの願いが込められ、会場は和やかな雰囲気になりました。市内から参加した松口邦代さんは、「いい言葉を選んで書きました。少し難しかったですけど、達成感があって良かったです。」と話していました。



駅周辺のバリアフリーを要望 1月30日 敦賀市の街づくりに於けるバリアフリーに関する要望書

敦賀市身体障害者福祉連合会は、敦賀駅西口から駅前商店街のバリアフリー点検の結果を踏まえ、要望書を米澤市長に提出しました。バリアフリー点検は昨年11月に市内外の障がい者ら57人が参加して実施され、連合会は点字ブロックの改修や音声案内の設置など17項目の改善点を取りまとめました。連合会の橋本輝男会長は「点検は社会の障壁を取り除く大事な活動。多くの参加者の意見を取りまとめたので、検討をお願いしたい。」と話していました。米澤市長は「障がいについて関心がある方でも気づけない課題をピックアップいただいた。関係機関と連携し、改善に取り組みたい。」と述べました。



全国大会で優秀な成績 2月13日 敦賀市文化芸術及び科学技術活動優秀賞 表彰式

文化芸術や科学の分野で活躍した児童生徒等を称える表彰式が市役所で行われました。受賞者は全日本チアダンス選手権大会高校生編成チアダンス部門で優勝した福井商業高校の山本桃子さん(3年生)・木暮笙子さん(3年生)・阿部小花さん(2年生)ら3人。また、全国高等学校総合文化祭 小倉百人一首かるた部門で福井県選抜メンバーとして3位に入賞した敦賀高校の赤澤菜月さん(2年生)・上塚朱寿さん(2年生)・敦賀気比高校の杉谷優里瑛さん(1年生)ら3人の計6人です。県選抜メンバー主将を務めた杉谷さんは「3位入賞は県勢として10年ぶり。3月の全国高校生かるたグランプリや次の全総文化祭でも良い成績を残したい。」と話していました。



国内外で活躍の選手ら表彰 2月10日 敦賀市スポーツ優秀選手表彰式、敦賀市スポーツ協会スポーツ功労者・優秀選手等表彰式

全国大会などで優秀な成績を収めた敦賀市の選手とスポーツの健全な普及などに尽力されたスポーツ功労者らの表彰式がプラザ萬象で開催されました。硬式野球競技のWBSC U-18 ワールドカップに出場し、日本の準優勝に貢献した岡部飛雄馬選手(敦賀気比高等学校3年)をはじめ、92人30団体が表彰されました。式では、米澤市長と敦賀市スポーツ協会 中村紀明会長があいさつに立ち、受賞者の功績と今後の活躍に期待を寄せました。スカイランニング競技で敦賀市スポーツ特別優秀選手賞を受賞した宮川朋史選手は「学生時代、文化部だった私がこの場にいることに驚いている。今後もスポーツ振興に力を尽くしたい。」と受賞者を代表し謝辞を述べました。



事前の備えを考えるきっかけに 2月8日 敦賀市地域防災啓発セミナー

敦賀市地域防災連絡協議会主催による、地域の防災力向上を目的としたセミナーが開催されました。八戸市危機管理部次長の館合裕之氏を講師に迎え、東日本大震災の際、災害対策本部で従事していた経験を基に、八戸市における地震発生直後の状況や避難所運営の課題と対応、事前の備えの重要性などについてお話いただきました。参加者からは、「実体験に基づく話が非常に参考になった。」「地域での備えを改めて見直したい。」などの声が寄せられ、防災意識を高める貴重な機会となりました。



畳の上の格闘技 緊張感あふれる勝負 2月1日 第67回市民かるた大会

競技かるたを通じ世代を超え交流してもらおうと、市主催の市民かるた大会がプラザ萬象にて開催されました。今年は市内外から、小学1年生から一般まで30人が出場し、学年別や実力別の6部門に分かれリーグ戦とトーナメント戦を行いました。有段者の部では選手らは上の句の一音目に反応して動くハイレベルな勝負を展開、和服姿で華麗かつ豪快に札を払い取る様子が見られました。B級中高一般の部で出場した藤本笑嘉さん(気比高・1年生)は「競技を始めたばかりですが、強い人とも互角に戦えるようになりたい。」と話していました。敦賀市かるた協会の石丸寛会長は「この大会を契機に競技を楽しく、長く続けてほしい。」と話していました。